



いただいたご意見への対応状況をご紹介します！！

～「令和2年度第1回区政会議」(新型コロナウイルス感染防止のため中止)～

■区政会議とは

区政運営にかかる方針や区における施策・事業について、区民の皆様からご意見・評価をいただき、そのご意見等を施策・事業の改善や新たな展開等に反映させていくために、各区において開催しています。

■第1回区政会議は中止いたしました。委員の皆さんから書面でご意見をいただきました(令和2年9月)

「令和元年度運営方針の実績・評価」および「今後取り組むべき事業」について、委員の皆さんから次のようなご意見をいただきました。

※分類

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度運営方針に反映または3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④対応困難または対応不可
- ⑤その他

番号	いただいたご意見	対応状況(令和2年10月末現在)	分類	予算措置 (①②の場合記載)
1	【区政会議】 本年はコロナ対応等で仕方のなかった面もあるが、区政会議の回数が少ない。年度あたり4回は開催してほしい。(林委員)	令和2年度は3回(本会議2回、ラウンドテーブル1回)の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、第1回区政会議をやむなく中止し、書面でご意見をいただきました。区政会議の開催につきましては、個別課題に特化した専門部会を必要に応じて開催することも含め、感染状況を踏まえて都度判断してまいります。	⑤	—
2	【区民の声集約】 ・「あなたの声をつなげ隊」による直接聴取のスタイルに加え、ツイッター等を使った「新たなサイレント・マジョリティ」の発見とアプローチがあればよい。(出水委員) ・ネットやSNS、Twitter、スマホアプリなどを有効に使って、面と向かって発言しない住民の意見を集約するなどの方法を考える必要がある。(飛田委員)	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、区民の皆様のご意見聴取方法として、対面を基本とするものが非常に難しくなっておりますことから、ご意見をいただきましたインターネットやSNS等の活用を含め、幅広いご意見をいただけるよう、その方法について検討してまいります。	⑤	—
3	【広報紙】 「文教区」ならではの、文化・芸術活動関連記事を増やしたらどうか。(竹田委員)	令和2年8月号において「織田作之助」、10月号において「聖徳太子」の特集記事を掲載しました。引き続き、天王寺ゆかりの文化・芸術活動に関連する内容を積極的に取り上げてまいります。	①	【2年度予算額】 ・区広報紙 15,178千円
4	【広報紙】 広報紙の全戸配布を年に1回だけではなく、もう1回でも増やしてほしい。(山崎委員)	全戸配布につきましては、平成30年度、令和元年度の試験実施の効果検証の結果もふまえ、令和2年度、3年度については実施を予定しておりませんが、より多くの皆様にご覧いただくという観点からは、設置場所の拡大やSNSでの講読促進等について引き続き努めてまいります。	⑤	—
5	【広報紙】 鶴橋駅での広報紙の配布を促進していただきたい。(山崎委員)	駅によっては管理者との合意に至らなかったものもありますが、既に設置している駅において、より多くの区民の皆様に見ていただける場所への変更・追加を行う予定です。今後も、広報紙の設置場所については、施設の管理者等のご協力を得ながら設置場所の拡大に努めてまいります。	②	【3年度運営方針】 ・具体的取組1-1-3 “伝わる広報”を意識した情報発信の強化 3年度算定見込額 15,314千円

番号	いただいたご意見	対応状況(令和2年10月末現在)	分類	予算措置 (①②の場合記載)
6	【人材育成】 未来を担う子供達に参加をしてもらって、これからの天王寺区を良くする会議があったら良い。 (中谷委員)	・これまでから子どもが参加する事業において、アンケート等により子どもの意見を把握し、事業に反映してまいりました。子どもの意見を区政に反映する手法につきましては、今後検討してまいります。 ・なお、小学校4年生から高校生までを対象に行っているジュニアクラブ活動につきましては、12月の活動の際に、参加する子ども達から活動内容等について意見聴取する場を設ける予定としており、3年度以降の活動に反映してまいります。	③	—
7	【ジュニアクラブ】 ジュニアクラブの事業内容はかなりブラッシュアップされて来ているが、参加希望者を対象としているため中々広がりが無い。今後は、学校との更なる連携強化が必要。(家田委員)	これまでから学校を通じて会員募集の案内チラシを配付しており、今年度は13名の新規会員がありました。今後とも区の校長会や教育行政連絡会等の場を活用し、活動状況や子ども達の参加状況等の情報共有を図り、学校との連携の強化に取り組み、できるだけ多くの子どもたちに参加いただくよう周知してまいります。	①	【2年度予算額】 ・ジュニアクラブ 260千円
8	【高齢者】 高齢者の見守りが毎月行われているが希望者のみなので、見守りの同意確認以後に見守りを希望された時の対応が不十分ではないか。(白井委員)	過去に不同意でしたが、再度見守りを希望される方は、見守り相談室までご連絡いただくように広報紙で周知しております。見守りを希望された方は随時登録をし、ボランティアに見守り訪問をお願いしています。今年度から、80歳の独居高齢者や高齢者のみの世帯を対象に再勧奨を行うようになりました。	①	【2年度予算額】 ・独居高齢者等見守りサポーター事業 5,262千円
9	【高齢者】 各連合町会、地域活動協議会との連携を密にして、高齢者の見守り、交流を小さな単位でフォロー出来るまちづくりが必要。(家田委員)	高齢者の見守りについては地域の方々の協力を得ながら行っており、地域の高齢者食事サービスやふれあい喫茶への参加を促すなど、小さな単位での継続した見守りができるように取り組んでいます。	①	【2年度予算額】 ・独居高齢者等見守りサポーター事業 5,262千円
10	【高齢者】 独居高齢者の見守りがクローズアップされているが、それだけでなく高齢者を見ている家族の声も聞いて欲しい。(林委員)	事業の対象者は独居高齢者や高齢者のみの世帯ですが、見守り相談室や地域包括支援センターでは高齢者を介護されている家族からの相談に応じ、家族に対する支援も行っております。	①	【2年度予算額】 ・独居高齢者等見守りサポーター事業 5,262千円
11	【防災】 ・避難所にダンボールベッドを確保するなど、充実していただきたい。(山崎委員) ・ソーシャルディスタンスを保とうとすると、避難所の定員が大幅に減少するため、あふれた避難者を収容する場所を確保しなければならない。ホテルを借り上げて避難所とするような対策が必要。(片岡委員)	・区では計画的に予算を確保し備蓄物資の配備を進めています。 ・さらに新型コロナ禍において避難所運営に必要な物資について、年度内の配備をめざして現在調達手続きを進めています。 ・ご意見いただいたダンボールベッドは、保管スペースの問題で配備は行いませんが、大阪市危機管理室が事業者組合と締結した協定に基づき災害時には供給を受けることとなっています。 ・また、新型コロナ禍においては避難所の収容力不足が見込まれることから、区としては在宅避難を呼びかけるとともに避難スペースの確保を進めています。	①	【2年度予算額】 ・備蓄・支援物資の整備 2,678千円
12	【防災】 防災グッズの定期的な配布と引き換えに防災教育・協力などをすすめるのはどうか。(山本委員)	・防災知識や備えの啓発のため、防災訓練や出前講座などの参加者に防災グッズの配付を行っているほか、現在令和3年3月までの予定で区役所1階区民情報コーナーにおいて、在宅避難を呼びかけるチラシなどと併せ災害用飲料水の配布を行っています。今後とも防災グッズを配布する機会に、啓発についても行ってまいります。 ・区としては、経費面や継続した啓発の重要性を考慮し、区広報紙やホームページ、YouTubeに掲載した動画など、様々な区の広報媒体を活用した啓発にも力を入れて取り組んでまいります。	⑤	—
13	【空家対策】 管理が行われていないため、樹木の枝や雑草の繁殖による近隣への被害などが放置されている空家の所有者に対して、管理の徹底を図るような施策が望まれる。(飛田委員)	空家等の適切な維持管理について、区広報紙やホームページなどにおける啓発に引き続き取り組みます。また、立木の管理など景観上または生活環境上問題のある特定空家については、所有者や相続人を早期に把握するとともに、関係所属と連携して所有者等への是正指導を繰り返し行い、早期解消に向けた取り組みを進めてまいります。	①	【2年度予算額】 ・空家等対策推進事業 93千円

番号	いただいたご意見	対応状況(令和2年10月末現在)	分類	予算措置 (①②の場合記載)
14	<p>【区の魅力発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これだけの歴史的、文化的資産が密接している地域はない。身近な天王寺区の魅力を掘り起こして発信する必要がある。(家田委員) ・大阪随一の寺町であり、かつ文教地区でもある天王寺の魅力をもっと発信したい。(林委員) ・真田丸や聖徳太子没後1400年など何かのイベントがあるときは良いのだが、その間や後のプロモーションを考えておくべきではないか。(飛田委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年聖徳太子1400年御聖忌に向け、四天王寺や四天王寺七宮など聖徳太子ゆかりの地を結ぶ散策ルートを策定し、上町台地周遊マップに掲載するなど、天王寺区に点在する歴史的・文化的資産のPRに努めています。令和2年度、3年度はウォーキングとセミナーの開催を通じて、聖徳太子ゆかりの地をPRしてまいります。 ・また、広報紙で天王寺ゆかりの文学を特集し、織田作之助の作品を通して天王寺七坂、下寺町、生國魂神社など天王寺区の魅力をPRしました。てんのうじ観光ボランティアガイド協議会とも連携し、セミナーやウォークを通じて、文学の視点から天王寺をPRしてまいります。 ・さらに、天王寺区商店会連盟と連携し、生國魂神社が発祥の地とされる落語の魅力も引き続きPRしてまいります。 	①	<p>【2年度予算額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天王寺区魅力発信・にぎわいづくり事業 <p>1,106千円</p>
15	<p>【地域活動】</p> <p>町会、マンション管理組合、生協など他団体を活用して地域サポートの充実に取り組んでいただきたい。(北村委員)</p>	<p>地域を様々な活動主体が支え合うことは、地域活動の活性化において重要と考えており、多様な活動主体との連携・協働に向けたネットワークづくりの支援をまちづくりセンターを活用して地域活動協議会に行っているところです。今後とも各種団体との連携や地域の各事業者との協働による地域活動の実施を検討し、地域でのつながりづくりと地域活動の活性化に取り組んでまいります。</p>	①	<p>【2年度予算額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな地域コミュニティ支援事業 <p>12,944千円</p>
16	<p>【地域活動協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区で地域活動協議会が活発に活動しているが、住民が安心して活動を続けられるよう、区役所のサポート体制を整備してほしい。(片岡委員) ・有償ボランティアの活用などアルバイト的な感覚で若い人たちが参加できるような仕組みが必要。(飛田委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間支援組織である「まちづくりセンター」の活用、及びまちづくりセンターとの連携を密にし、住民の方が安心して地域活動協議会による地域活動を継続できるよう、サポートしてまいります。 ・市からの地域活動協議会補助金には無報酬の労力相当としてみなし人件費が含まれており、補助限度額内の活動内容については各地域の地域活動協議会に委ねており地域内において一定の裁量はあるところです。各地域においては、あらゆる世代が参加し、誰もが楽しめるような様々な事業を実施されているところですが、区としても、若い世代が気軽に参加できるようSNSなどの広報媒体を活用し効果的な地域活動情報の発信強化に取り組んでまいります。 	①	<p>【2年度予算額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動協議会への財政的支援 <p>18,603千円</p>

※分類

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度運営方針に反映または3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④対応困難または対応不可
- ⑤その他